

2017年6月12日

報道関係 各位

**観光マーケティング分野で著名な専門家を講師陣に迎えた  
観光庁後援の「JLAA 観光マーケティング実務責任者養成講座」開講を決定  
～ 観光マーケティング分野の実務責任者育成へ ～**

一般社団法人 日本地域広告会社協会

<http://www.jlaa.jp/>

全国の都道府県に本社を置く広告会社を会員に日本最大の広告会社ネットワークを有する、一般社団法人 日本地域広告会社協会（所在地：東京都港区新橋6-14-5、理事長：後藤 一俊・株式会社 中広代表取締役、会員数：70社、略称：JLAA）は、観光マーケティング分野の実務責任者を全国的に育成するため、「JLAA 観光マーケティング実務責任者養成講座」（後援：観光庁）を初めて開講することになりました。2017年度内に東京で2回実施し、合計160名の受講者を予定しています。

この講座の最大の特長は、観光の講座ではなく、観光地域づくり（マネジメント）で、観光マーケティング、プロモーション戦略、商品造成などの第一線で活躍する著名な専門家が講義するところにあります。また、受講者は修了テストを受け、習得知識の確認を行い、合格点に達した受講者は「JLAA 観光マーケティング実務責任者」として活動することができます。

国が推進する地方創生プロジェクトにおいて、外国からのインバウンド旅行客の拡大を含め、地域における観光産業の振興は喫緊の課題となっています。観光産業振興に向けて、観光庁が推進する日本版DMO（\*1）の認定事業となり、その認定DMOの組成要件として重要とされるのがCMO（\*2）の存在となります。しかし、観光ビジネスの分野は現在、マーケティングの知識、ノウハウが十分に整理されてなく、観光マーケティングのための実務者が育ちづらい環境にあります。こうした中で、全国のプロモーション分野の専門家である広告会社などで構成される当協会では、体系的なマーケティング実務の理解促進および日本各地における観光事業のCMO育成の後方支援をすべく開設を決定しました。

**\*1) DMO (Destination Management Organization デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション)**

観光物件、自然、食、芸術・芸能、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人

**\*2) CMO (Chief Marketing Officer チーフ・マーケティング・オフィサー)**

データ収集・分析等の専門人材

今回の講座の特長は観光の講座ではなく、観光地域づくりであり、また、実際に DMO に携わる本格的な講師陣がテキストと研修に関わる点です。DMO の形成には広く関係者を巻き込んでいき、合意形成を図ることが重要です。また、DMO の形態も地域の特性（理念、伝統文化、産業構造、住民意識など）によって、さまざまのため、画一的な手法を学ぶよりも、対象地域にあった DMO を模索していける場を提供することが求められています。

主な講師としては、山田 桂一郎・JTIC SWISS 代表、大友 信秀・金沢大学法学系教授、井上 弘司・CRC 合同会社（略称：地域再生診療所）代表執行役、鈴木 秀樹・㈱鹿島アントラーズ FC 取締役らが担当します。

このうち、鈴木氏は「スポーツマーケティングの実際」をテーマに、「国内 100 を超えるプロスポーツチームが地域にもたらす価値を探る。いち早く茨城県鹿行地域 DMO と連携する鹿島アントラーズの事例から見えてくる地域の将来像とは」などについて紹介します。

＝「JLAA 観光マーケティング実務責任者養成講座」の概要＝

名 称 : JLAA 観光マーケティング実務責任者養成講座

主 催 : 一般社団法人 日本地域広告会社協会 (JLAA)

後 援 : 観光庁

目 的 : 観光マーケティング分野の実務責任者の育成

受講対象者: 行政機関、企業、団体など観光マーケティングに関わるあらゆるセクターの方

受講料 : 1 名 50,000 円 (テキスト代含む)

受付開始 : 第 1 期講座 2017 年 7 月中旬

① 第 1 回研修会	10 月 27 日 (金) 28 日 (土)	各 9:30~17:30
② 第 2 回研修会	11 月 17 日 (金) 18 日 (土)	各 9:30~17:30

会 場 : アットビジネスセンター東京駅 206 号室 (各回共通)  
(東京都中央区京橋 1-11-2 八重洲 MID ビル)

募集人数 : 160 名 (各 80 名)

テーマ（予定）	講師	役職
世界水準のDMOと ポジショニング戦略	山田 桂一郎	JTIC SWISS 代表
観光概論	山下 真輝	(株)ジェイティビー国内事業本部 観光立国推進担当マネージャー
地域ブランディングとDMO	大友 信秀	金沢大学法学系教授
スポーツマーケティング の実際	鈴木 秀樹	(株)鹿島アントラーズ FC 取締役
地域に求められるDMOの 在り方と組織づくり	井上 弘司	CRC 合同会社（略称：地域再生診療所） 代表執行役
観光マーケティングの実践 — 感情価値向上に向けて —	吉井 靖	(株)うぶすな 代表取締役
ネットマーケティング とSNS活用	菅野 弘達	(株)ソーシャルメディアマーケティング 代表取締役
観光とビッグデータ マーケティング	佐藤 純也	(株)らしく 代表取締役
PRの基本と地方自治体にあった トライアングル戦略PR	菅原 豊	(株)YCP Japan 戦略PR プロデューサー

講座内容：・受講者は二日間にわたる講義後にレポートを提出し、習得知識の確認を経て、合格点に達した受講者は、「JLAA 観光マーケティング実務責任者」として活動することができます

申込方法：7月以降に当協会ホームページからお申し込みください。

<http://www.jlaa.jp/>

=参考=

## インバウンド4,000万人へ向けて、JLAAの出番

政府の経済刺激策が功を奏し、全国的にはまだら模様ではありますが、概して好況な状態にあります。全国的に求人需要が活発であることがその証明です。しかし、経済の根幹をなす企業の成長を促進する政策の道筋が見えていません。既得権益の厚い障壁や省益主義による規制緩和への抵抗に対して、政治力が突破できないところに起因しています。しかし2020年、東京五輪を一つの起爆剤として、日本経済の有り様を定めるべく「地方の再生なくして国の再生なし」と、地方創生のための施策が講じられています。その大きな柱が「観光産業」です。政府は観光庁を設け強化し、ビザの発給を緩和するなど、観光立国への布石を次々と打ってきました。昨年のインバウンドは2,400万人を突破。2020年の目標4,000万人が前倒しされる勢いです。

問題は膨らむ需要に対する供給体制の遅れです。とりわけ、地方、自治体を中心に体制を整えるべく DMO (Destination Marketing Management Organization) の 推進など、活発な活動が展開されています。観光客を地方に誘致する手立てができるのは、地方に根を張る我々の役割であり使命であります。地域の広告会社が今ほど、地域活性化のために、地域の観光産業推進の担い手となることが求められている時はありません。私は今こそ JLAA の出番であると考えています。

### DMO のための JLAA 独自の養成講座「TMO」

来年は 15 周年記念と銘打ち、発祥の地、京都にて総会を開催し、設立の理念に立ち返りたいと考えます。JLAA の悲願は、日本全国にいる「広告業を通じ、地域を活性化」する仲間の組織化です。創立時は 30 社。現在では 70 社、41 都道府県に仲間が集いました。来年の総会までには、47 都道府県「エリア No.1」の広告 会社が活躍する全国唯一の集団にします。そして、JLAA に相談すれば日本隅々の地域情報が得られるような、日本で最も活発な働きをする組織を目指します。

JLAA 活動の柱は「地域情報の交換」です。その情報をもとに、会員社がそれぞれのエリアで活躍し、一層の成長に寄与することです。そして最も力を入れなければならないのが「人材の育成」です。「広告は時代の映し絵」です。時代に鋭く反応し、社会そのものの創造が任務です。広告の仕事に携わる仲間、特に「青雲の志」を抱く若い仲間には、広告知識や時代の変遷を恒常的に学ぶ機会が必要です。「営業研修会」や様々なテーマの勉強会を設け、人材育成に力を入れます。

同時に、観光産業を推進できる人材を養成する「DMO のための観光人材養成講座 (TMO)」を観光庁の後援を得て開設します。講座では認定試験を実施し、「JLAA 観光マーケティング実務責任者」の資格を授与いたします。

**\* 一般社団法人日本地域広告会社協会(JLAA)理事長・後藤 一俊 あいさつ文からの抜粋**

<http://www.jlaa.jp/about/greeting.html>

以上

この件に関するお問い合わせ先  
一般社団法人 日本地域広告会社協会 事務局  
担当：廣田、菅原  
TEL：03-3459-6194  
URL:contact@jlaa.jp